

デジタル田園都市構想総合戦略（第3期総合戦略）

策定に向けたアンケート結果報告書

【アンケートの目的】

このアンケートは、令和7年度を開始期間とするデジタル田園都市構想総合戦略（第3期総合戦略）策定のための基礎資料とすることを目的とする。

【実施期間】

令和6年7月10日（水）から令和6年7月24日（水）まで

【アンケート協力依頼者数】

810人（メールで依頼：515人、文書で依頼：295人）

【回答者数】

539人（ネット回答：384人、郵送回答：155人）

【回答率】

66.5%

【担当課】

政策部 総合戦略課

【自由記述欄について】

多数のご意見を頂きましたため、一部抜粋して掲載しています。なお、市HPの「市政モニターアンケートの結果について（令和6年度）」では全てのご意見を掲載させていただきます。※誤字脱字等を修正しています。

下記URLまたはQRコードからご覧ください。

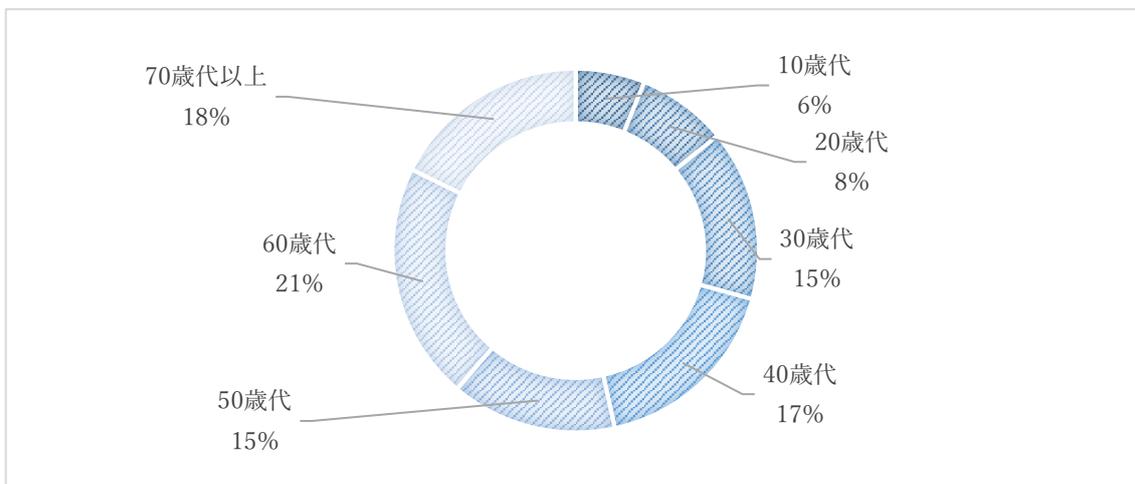
<https://www.city.takashima.lg.jp/soshiki/seisakubu/kikakukohoka/15/2/11240.html>



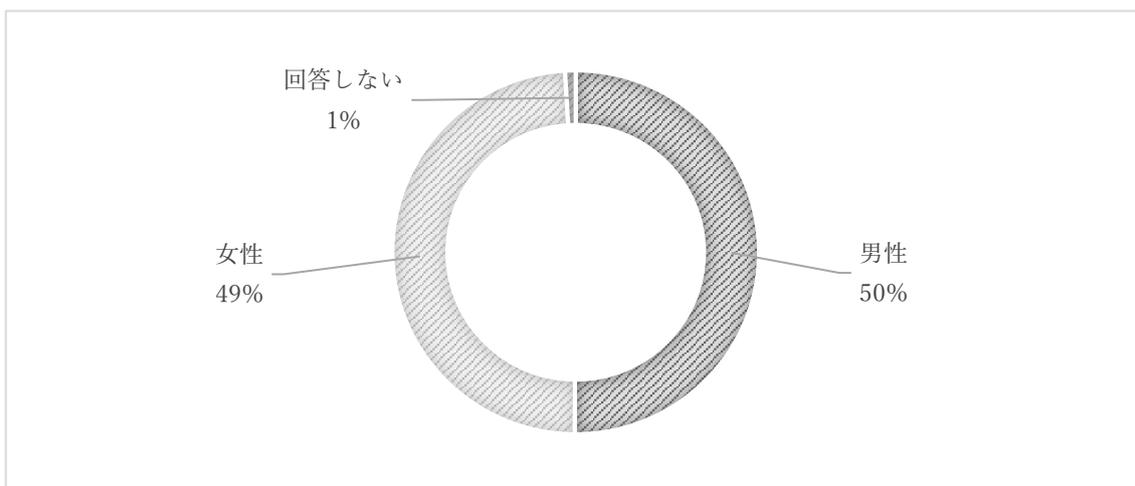
目次

問 1.あなたの年齢を教えてください。・・・・・・・・・・・・・・・・	1
問 2.あなたの性別を教えてください。・・・・・・・・・・・・・・・・	1
問 3.あなたの居住地域を教えてください。・・・・・・・・・・・・・・・・	1
問 4.あなたの職業を教えてください。・・・・・・・・・・・・・・・・	2
問 5.あなたは高島市以外に住んだ経験がありますか。・・・・・・・・	3
問 6.あなたはこれからも高島市に住み続けたいですか。・・・・・・・・	3
問 7.あなたは高島市に愛着がありますか。・・・・・・・・・・・・・・・・	4
問 8.子育てと仕事を両立する上で、市内にあれば望ましいと思う サービスは何ですか。・・・・・・・・	5
問 9.あなたは高島市の人口減少に対して危機感をお持ちですか。・・・・・・・・	6
問 10.特にどのような点で人口減少に対して 危機感をお持ちですか。(3つまで回答可)・・・・・・・・	7
問 11.人口減少に関してご意見をお聞かせください。・・・・・・・・	9
問 12.次の項目は、人口減少に対し、国の総合戦略(デジタル田園都市国家構想)にお いて進めようとしている主な施策です。高島市に置き換えたとき、あなたが考える 重要度を項目ごとに記載してください。 【地方に仕事をつくる】・・・・・・・・	12
【人の流れをつくる】・・・・・・・・	13
【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】・・・・・・・・	14
【魅力的な地域をつくる】・・・・・・・・	15
問 13.仕事づくりや雇用の確保に関してあなたのご意見をお聞かせください。・・・・	16
問 14.若者の移住・定住を促進することに関して あなたのご意見をお聞かせください。・・・・・・・・	19
問 15.結婚・出産・子育てを支援することに関して あなたのご意見をお聞かせください。・・・・・・・・	21
問 16.デジタルを活用したまちづくりに関する あなたのご意見をお聞かせください。・・・・・・・・	23

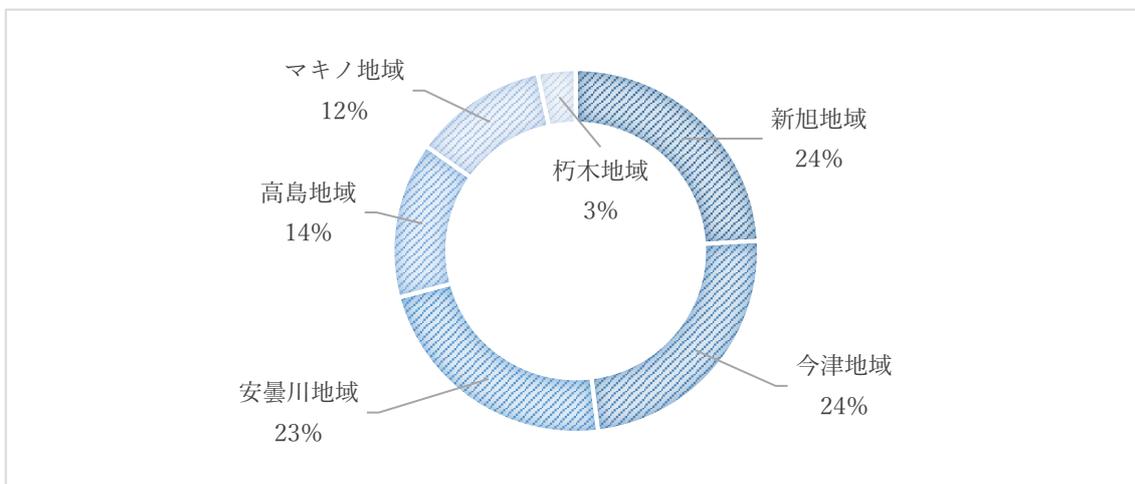
問1. あなたの年齢を教えてください。



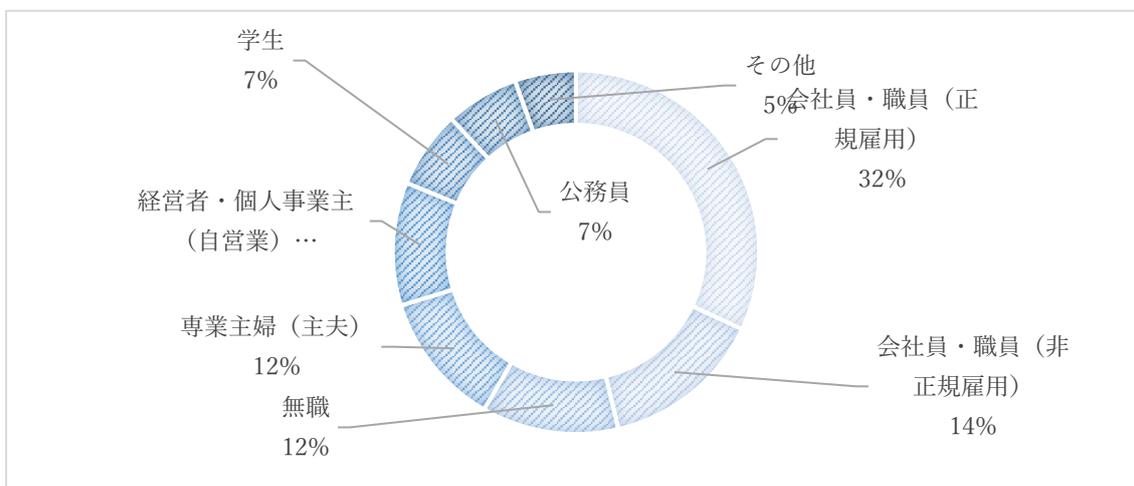
問2. あなたの性別を教えてください。



問3. あなたの居住地域を教えてください。

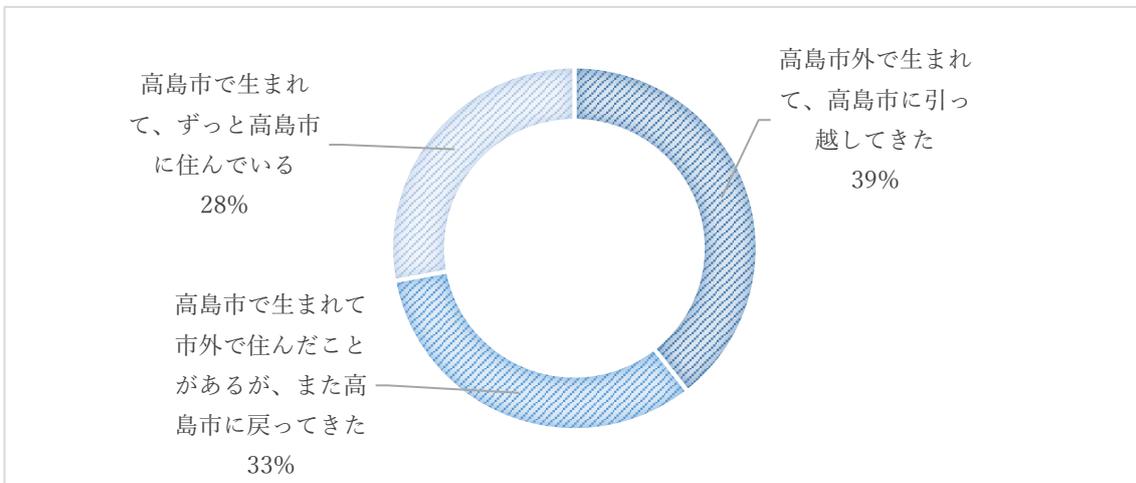


問4. あなたの職業を教えてください。

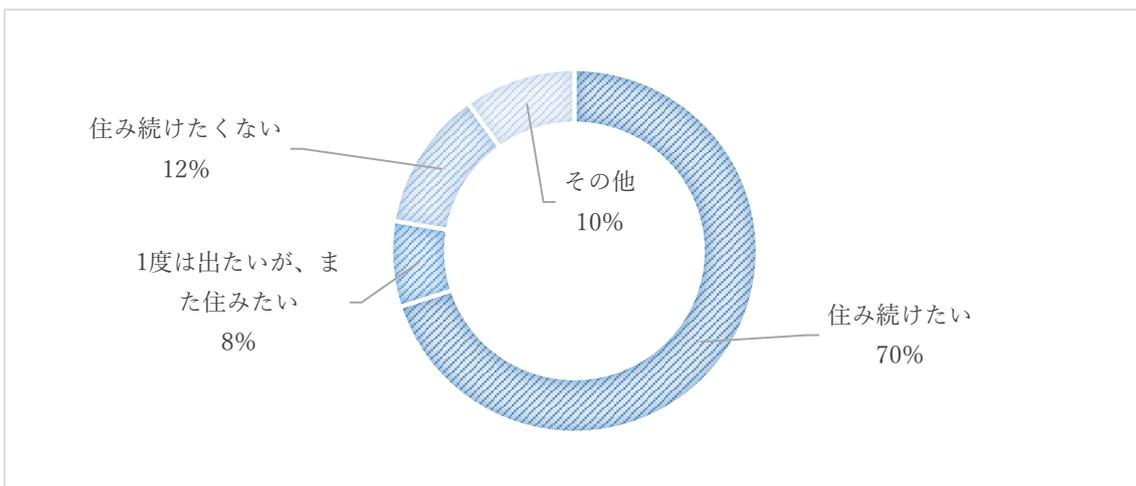


その他
アルバイト (4)
農業 (3)
パート (3)
団体職員 (2)
年金受給者 (2)
僧侶、住職 (2)
漁師
扇骨業
シルバー人材センター
調理人
作家
障がい者 B 型作業所通所

問5. あなたは高島市以外に住んだ経験がありますか。



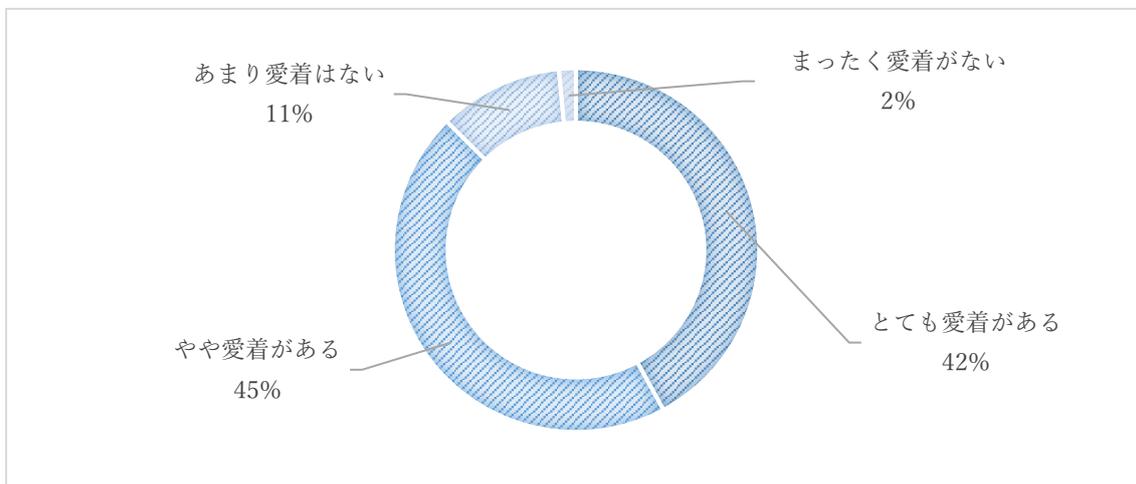
問6. あなたはこれからも高島市に住み続けたいですか。



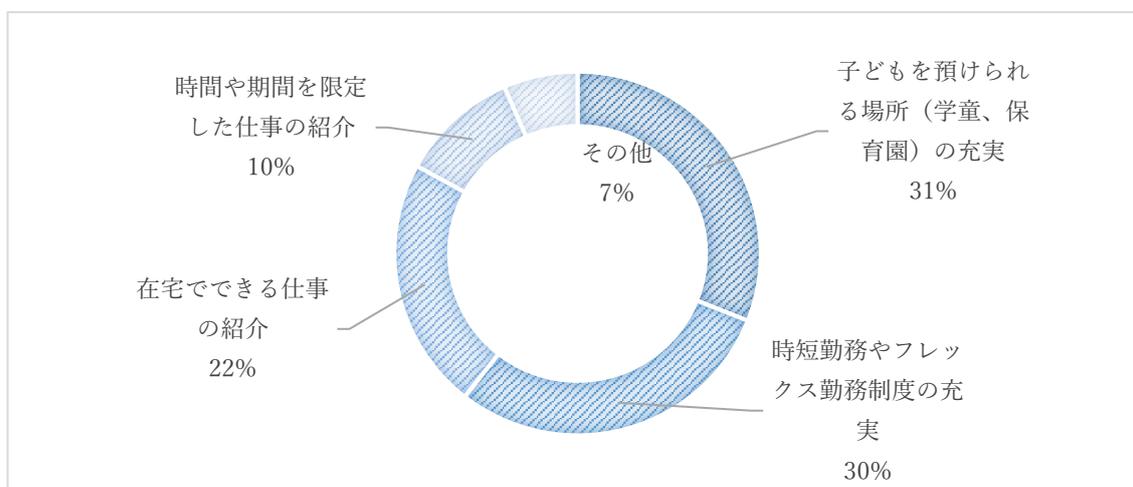
その他
マキノに持ち家があるので、当面住むが、マイカーを運転出来なくなったら生活出来ないのでは、引っ越しせざるを得ない。
現在高島市で働いているので当面は住みたいですが、状況が変わればどうしても住み続けたいとは考えていません。
高齢者になった時、湖西線運休になった時やバスの利用時間の事を考えると、大津市くらいに住む方が色々楽だと思う。今は車を所持し運転もしてるけどある程度の年齢になったら返納もしないといけないから。
今は週の半分を大阪に泊まっている（仕事で）為、不便は感じないが、高島市だけになるとお店などが少なすぎて歳を取った時に生活ができるのか不安になる

今後の医療機関や医療体制の充実と湖西線の運営の状況によっては住みづらくなる可能性もあり、そのようになったら市外に出るしかないかと思っています。
住みたいと思うが運転免許証を返納してからの移動手段に不安がある 湖西線も頻繁に運航休止になるので現実的には住めないと思っている
住み続けるつもりで戻ってきたが、以前住んでいたところに比べ住みにくさを感じている。また、今後過疎化が進むことで街が廃れさらに住みにくくなるのではないかと危惧している。
消滅可能都市といわれ、高齢者が多いにも関わらず、滋賀県の都市部との医療格差などが大きく、アクセスなどのインフラも悪すぎるので、高齢になった時に困ることが目に見えているので。 どこかで区切りをつけて都市部へ移らないといけなような気がしています。
電車の本数が増えるなら居続けたいが減る一方であれば不便になるので高島市外で京都大阪に行きやすい地域に引っ越ししたい。
年齢を重ねていき、車を運転出来なくなった時の生活の不便さを感じるから。
魅力が無くなれば移住します

問7. あなたは高島市に愛着がありますか。



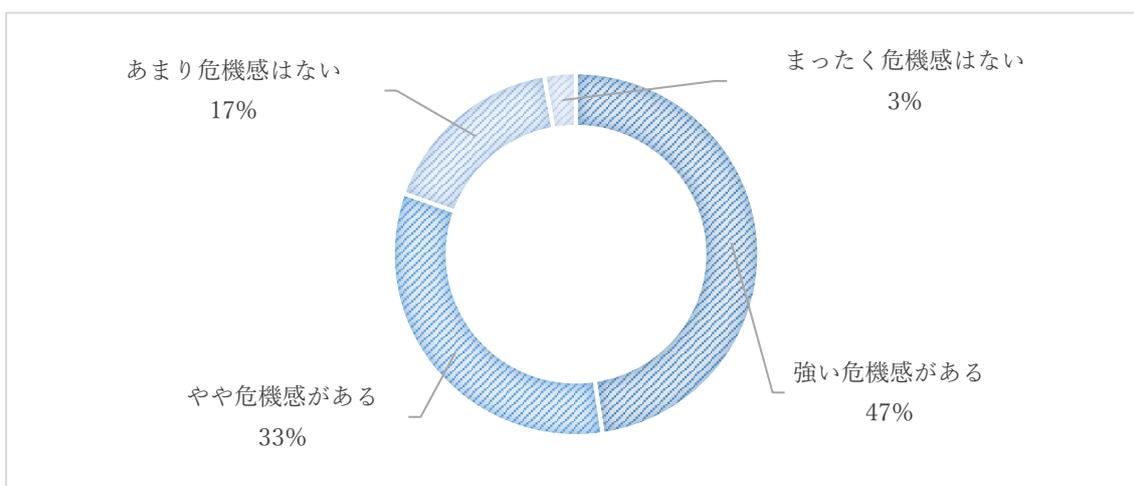
問8. 子育てと仕事を両立する上で、市内にあれば望ましいと思うサービスは何ですか。



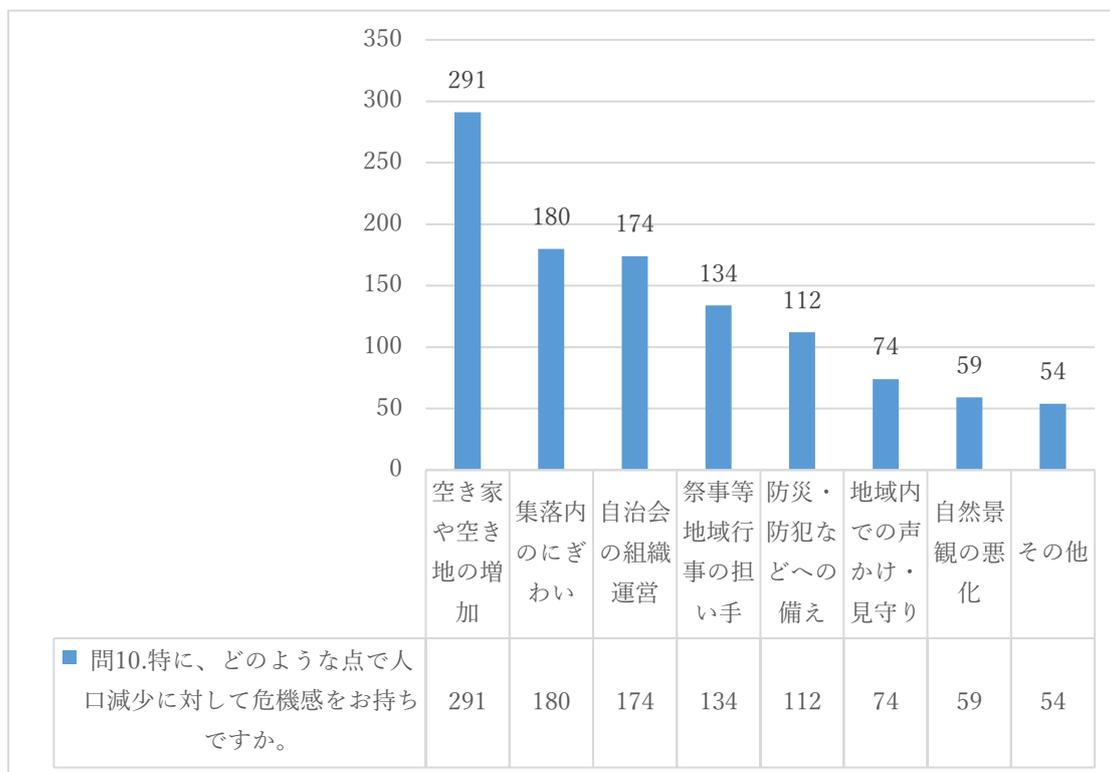
その他
全て
<p>回答ですが、昔と違い、祖父母や近所に預けられない親が多く、子育てから逃げ場のない親は子にあたる可能性が高いと思います。</p> <p>海外では、ベビーシッターに預けて、親は自分や自分たちの時間をつくり、子育てのストレスから解放し、穏やかや心で子育てと思っています。</p> <p>たとえば、引退世代のお暇を活用するのはいかがでしょうか。</p>
<p>どれも違うような気がします。</p> <p>・前提に現在高島に住んでいる人への問?であるならば、 ①～④すべてだと思います。</p> <p>仕事があれば高島を出る人達を減らすことはできると思います。</p> <p>また、帰ってくるのではないですか</p> <p>・高島市外の人への高島に来てほしいための問?であれば 単に魅力がないのでは、「街にアクセスしやすい田舎」 で大阪・京都から程よく近い田舎＝高島みたいな感じのほうがアピールしやすいのではないかな?と思っています</p>
<p>簡略的な申請でもらえる子ども手当給付金制度(出生届などに紐づけて手続きを一元化して欲しい)</p> <p>週1, 2程度の都心出勤を想定したテレワーク実施者への補助金(マイホーム、通勤費用等への助成)</p> <p>通勤時間帯の JR 増便</p>

子どもを預けられる場所で、病気や発熱時、仕事中の親がお迎えに行けるまで医療機関と連携して預かってくれるような体制が整えばよいと思う
子育て世帯にはベーシックインカムで、お金を給付する制度が必要。子育てが終わったお母さんが仕事出来るように、企業を支援する制度が必要。
市内で子供が遊べる場所 無料か低額 行く場所が限られてきた。
大企業の誘致。ある程度、財力のある企業が、モデルとなり、多様な働き方を推進していただきたい。
大型機の商業施設（映画館、各種ショップ）出かけていけないといけない。 時間ももったいない。 市民病院の診察科目の充実（平日毎日受けれるように）
両立の前に、シングル家庭を減らすべきです。若いうちから性教育などを施し、デキ婚後離婚するような家庭をなるべく削減すべきです。 また、両親共にいる家庭向けとして、1の在宅で出来る仕事の普及は良いと思います。
趣味の教室を多く開催してほしい。料理教室等
職場が理解があり融通がきいて子供の具合が悪くなったら仕事を休める職場が増えると仕事を続けたい
給料が安すぎるので全体的に上げてもらわないと両立はできない←サービスや制度の前に賃金の充実を。

問9. あなたは高島市の人口減少に対して危機感をお持ちですか。



問10. 特にどのような点で人口減少に対して危機感をお持ちですか。（3つまで回答可）



その他
インフラサービスの縮小(銀行窓口の減少、子供が安心して遊べる公園や遊具などの施設が少なくなる、公共交通機関の便数の減少など)が不安になる
害獣被害の深刻化(野性鳥獣の生息は自然環境の変化による影響が大きいが人口減少や過疎化により狩猟者の減少や耕作地放棄、里山の手入れ不足なども一因があると思う) 数年前から住宅地にも猿が出没し、花壇を荒し糞尿するなど困っている
減少自体は避けられないものとして、現在の人口規模で成り立っている社会システムの根本的な課題を解決する意識や方法があるのかどうか
高島市内での産業、仕事が少なく子育て世代が定着出来ない。また都市へのアクセスが不便であり、唯一の湖西線も運休が多く通勤に不便。その他にも自治会もまだまだ閉鎖的な感があり、他所から来た人感を強く感じる。
資料館の閉館など、箱物を無くしてコストカットする方針を感じるが、後々カットする部分がなくなった時に今の働き世代の税収だけで市政が運営できるのか不安。市内に普通科高校が1校のみであり、子育てに不安

若い世代が進学や就職で市外に出ていき 将来的には高島市が限界集落になってしまう
人口増加に関する市議会での答弁で、市の政策課長の後ろ向きな答弁を行ったことは甚だ遺憾である。他所の地域、さらに高島より規模の小さい町でさえ努力し、こどもの数を増やしている場所もあるにも関わらず端から諦めたようなことを言うのはどうかと思う。仮に諦めていないにしても答弁のしかたに問題があるのではないか。このような市役所職員の意識が一番の危機である。
全てです。 地域の方が自分事として捉えていないのが1番問題だと思いますが、市の運営をされている方達にももっと市民の方と関わる時間があってもいいと思いますし、自分の地域で何かをするとか、困り事を聞いて、どう解決したらいいか考える機会をもっと増やしてもいいと思います。
働く場所がない。 買い物する場所がなくなる。 物価が高くなる。 電車の本数が少なくなる。 子供の未来が不安。
保育園等子育て支援の弱さ。 湖西線の風による運休が多い為、京阪神地区へ電車通勤出来ないこと。
市政や組織の運営。住民サービスの低下。
交通機関や買物病院への不便がでてくるのではないか
神社、寺の維持管理

問11. 人口減少に関してご意見をお聞かせください。

意見
<p>外部から高島市に転入してきた者の視点としての意見です。まず、高島市には豊かな自然条件と、余裕ある土地があるにも拘わらず、その魅力が活かされず、地元の方々もあまり魅力を見いだしていないように思われます。前回のアンケートと同様に、この自然を生かしたスポーツ振興やイベントの開催により、我が町高島の意識高揚が大事と思います。</p> <p>また、高島に人口が増えない要因は、通勤範囲内の仕事がありませんことではないでしょうか？私も現在は市外に単身赴任で週末自宅に帰るのみですが、せっかく大阪駅まで1時間で通える特急サンダーバードがあるにも拘わらず、朝夕わずかの本数しか近江今津に停車しないのがよろしくないです。新幹線開通後はサンダーバードはお隣の敦賀行きになっていますので、もっと停車する本数を増やすよう行政から強く働きかけてほしい。また、特急代が負担できない方には、自治体から補助金を出すのも一案と思います。</p>
<p>歯止めをかけるのは不可能。 高島市を維持するには、大幅に減少する前提で集住を進めざるを得ない。</p>
<p>JR 湖西線がよく止まるので、通勤、通学が不便 せめて計画運休の際は代替バスなどの対策があってほしい 防風柵などの対策はもっとすべき 公共交通機関を使ってのアクセスの良さが全ての人に対して住みやすい環境になると思う</p>
<p>高島市には魅力が沢山あるのに、周りの認知度が低いと感じます。 SNS等を活用して高島市をアピールしてほしいと感じます。自然豊かで子供の補助が手厚くて本当に、子育て世代には魅力があるまちです。私も魅了された1人で、他県から移住してきました。</p> <p>高島市で生まれ育った方は当たり前かもしれませんが、町の脇の水路に小魚が泳いでいるのを見て感動しました。トンボがこんなにも種類が多かったことも、高島に移住してから知りました。そういう些細なことでも他所からしたら魅力があります。</p> <p>ご飯屋さんもお味いお店がないです。どのお店も手を抜かずに食事を作ってるように感じます。本当に良いところが沢山あるので、もっと認知度をあげてほしいです！！</p>

<p>正直市内での生活は不便だと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き口の企業数が少なくどこも給与水準が低い。 ・交通の便が悪い(市外に出かけにくい) <ul style="list-style-type: none"> 車は主要道路が一本道なので事故や混雑で渋滞すると身動きが取れない 電車は運賃が高く本数が少ない また最近では以前に比べて頻繁に運休する ・若者向けの娯楽施設や商業施設が無い ・自治会の役(消防団など)を当てられ休日が潰れる <p>などが人が市外へ流出する原因だと思う。</p> <p>また市内の企業の給与水準が低いので都会で働いていた人が市内の企業に転職した場合、収入が下がったにも関わらず前年の収入に応じた高額な住民税を請求されるなど一度市外へ出た人が戻ってきた時のメリットが無いと思う。</p> <p>中途半端な規模の商業施設やドラッグストアではなくコストコのような集客力のある商業施設や娯楽施設、大手企業を誘致したり、地元へ戻ってきた人への減税など優遇措置があればいいのではないかと思う。</p>
<p>現実的には致し方ないのだと思いますが、車に乗らない限り大変不便な毎日を暮らさねばならない市内です。JRとの関わりもあるからなのでしょうかね？ 行動しにくい市内だと感じています。市内循環できるバスや魅力ある催事に参加できる手段を増やし、高島市の良い部分を体験するチャンスを作って欲しい。</p>
<p>人口減少となっていると一言で片づけることが理解できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新社会人となり市外へ出られたのか？ ・高齢者が減少(転宅)したのか？(死亡でない) ・逆に高島市へ転入された方々の要因は何か？ <p>等々、分析しないと目標をかかげる根拠に欠ける。単に数値目標であって、結果としての政策の良さ悪さの分析ができない。</p>
<p>第1子～第3子位までは教育費は不要にしてはどうか？</p>
<p>①湖西線がよく止まることによる影響。就職、通学等において、電車が止まるので予定がたて難いところから市外に住居を構えざるを得ない。また、風等の影響だけなら近江舞子止まりは考え難い。JRとしっかり交渉して安定した通勤等の確保に努める必要有</p> <p>②交通アクセスー湖西バイパスの敦賀までの早期開通により、地域に働き場所を提供できる環境作り必要。他地域に行けば、非常に難しいところであっても、ビックリするぐらい長いトンネル等により地域を活性させているところがある。敦賀までトンネル等を通せば、市内から10分以内で行けるようになり、工場進出等の面において、京阪神から北陸へのアクセスが良くなり地域活性の源になる。</p>

人口減少問題は高島市の問題では無く日本の問題です。なぜそうってしまったのか・・・？ 色々理由があるかと思います。

高学歴→晩婚→子供すくなくなる

高学歴→仕事がおもしろくなる→仕事優先

高学歴→女性が仕事を持つ→自立の心→結婚否定

①国道（バイパス）等の渋滞と湖西線の不通対策

②農地の荒廃化と農地保全対策

③若者の流出と市内就農対策

④定年後も高島で住み続けられる環境整備

⑤空屋空地対策と流入人口対策

⑥子育て環境（県内1位）の充実

高校を卒業し、進学して都会に出ると、卒業後地元に戻ってくる人が少ない。高島市に職場（企業、店舗、施設など）が多くあるとか子育てがし易い、都会への通勤がし易いなどの魅力があれば、若者や生産年齢者も市内に住むことができる。自然が温暖化の影響で、台風や降雨、降雪が災害につながりかねなく、湖西線の運行見合わせが頻繁にあり、通勤、通学に不安な事となっている。負のスパイラルとなり、人口減少に大きく関わっていることが否めない。代替の交通利用（公共の）も出されず、安定運行ができるよ JR に願いたい。

市内には、大学を卒業した子が就職する企業が圧倒的に少ないと思う。市外又は県外（京都など）に通勤できる距離に高島市はあると思うので、もっと通勤アクセスをよくすれば、定住できる環境をつくる事が出来ると思う。特に、湖西線が、これだけ強風に止まると、通勤はしんどい。何とか市としては対策するべきです。

人口減少傾向になることはある程度いたしかたないのではと思います。急激な減少はよくないと思います。それよりも人口分布が高齢者が多くなってきていることの方が問題だとは思いますが。日本全体の人口が増加すれば良いのかというと、ちょっと違うような感じがします。かつての日本がそうであったように、国の経済が成長しているときの人口増加は、いろいろと弊害があったと思いますし、現在は、人口が減り、その中で都市と地方の人口がより顕在化したものだと思います。少子生高齢化、人口減少の社会となった時代、我々ひとりひとりがまち・暮らしをどうしていくかを考えていかなければならないと思っております。

1 市内の公共交通（コミュニティバスなどの充実）

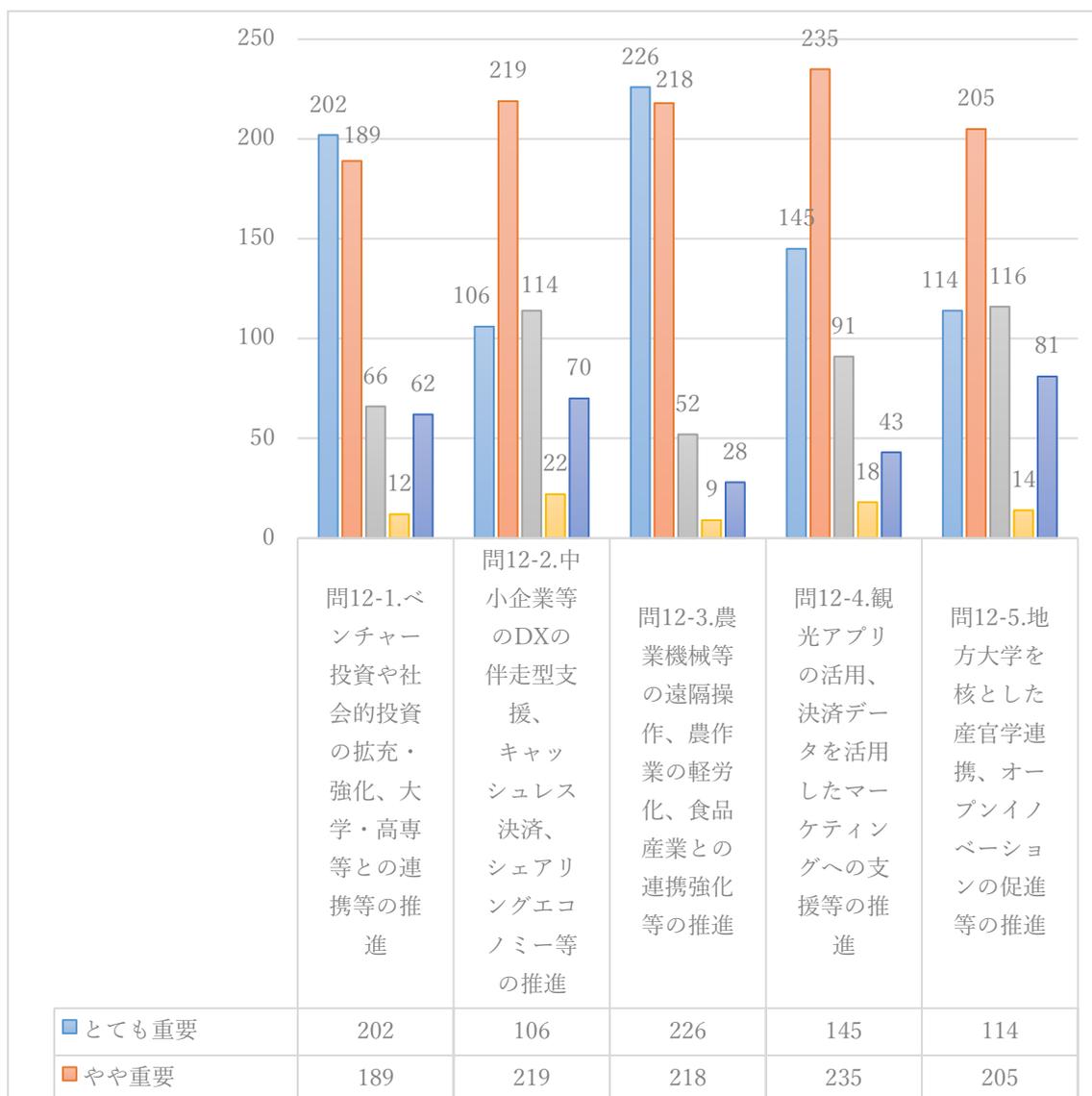
2 JR への働きかけ（本数が少なすぎる）

子育て世代の方が安心して働けるしくみを考える必要がある。

問12. 次の項目は、人口減少に対し、国の総合戦略（デジタル田園都市国家構想）において進めようとしている主な施策です。高島市に置き換えたとき、あなたが考える重要度を項目ごとに記載してください。

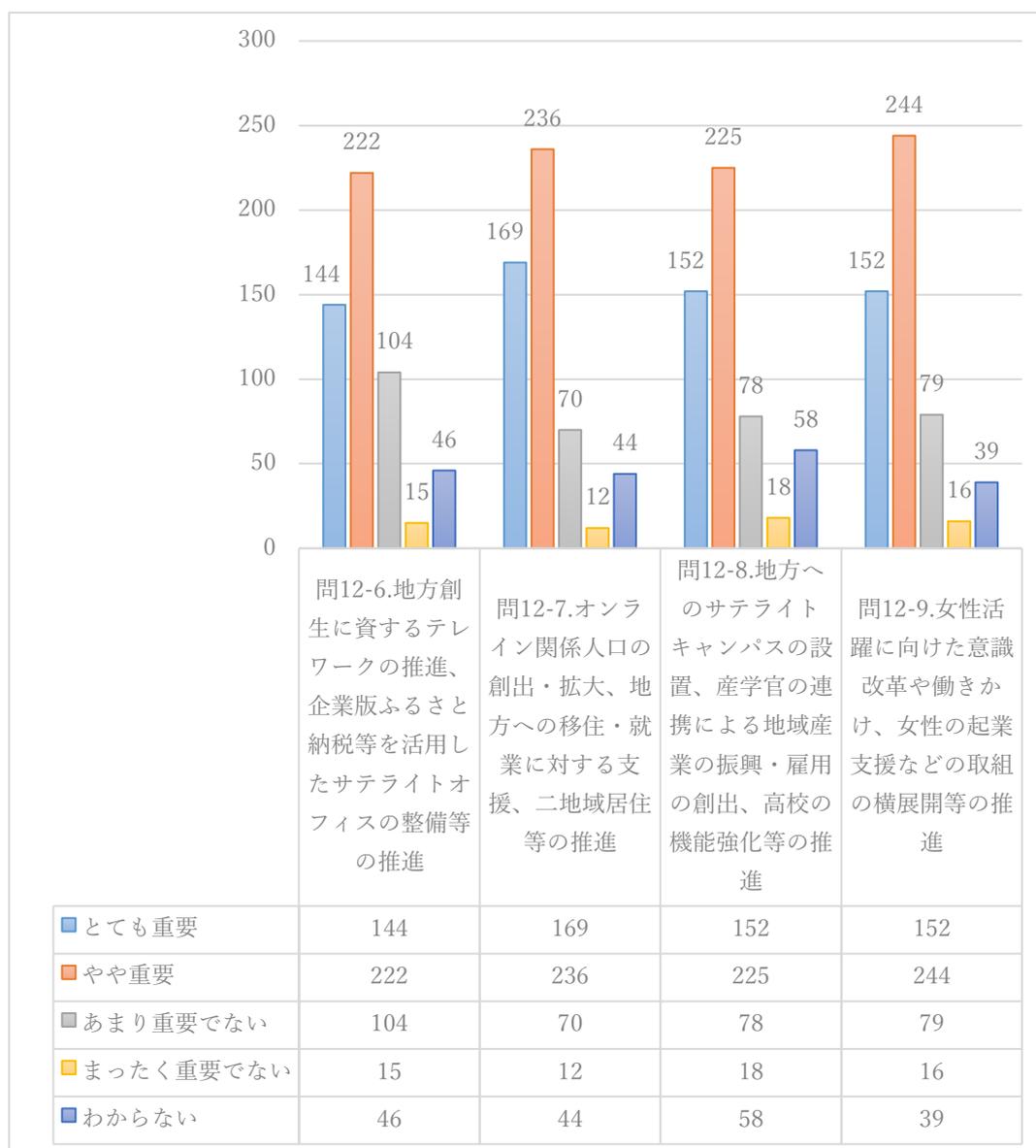
【地方に仕事をつくる】

- (1) ベンチャー投資や社会的投資の拡充・強化、大学・高専等との連携等の推進
- (2) 中小企業等の DX の伴走型支援、キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等の推進
- (3) 農業機械等の遠隔操作、農作業の軽労化、食品産業との連携強化等の推進
- (4) 観光アプリの活用、決済データを活用したマーケティングへの支援等の推進
- (5) 地方大学を核とした産官学連携、オープンイノベーションの促進等の推進



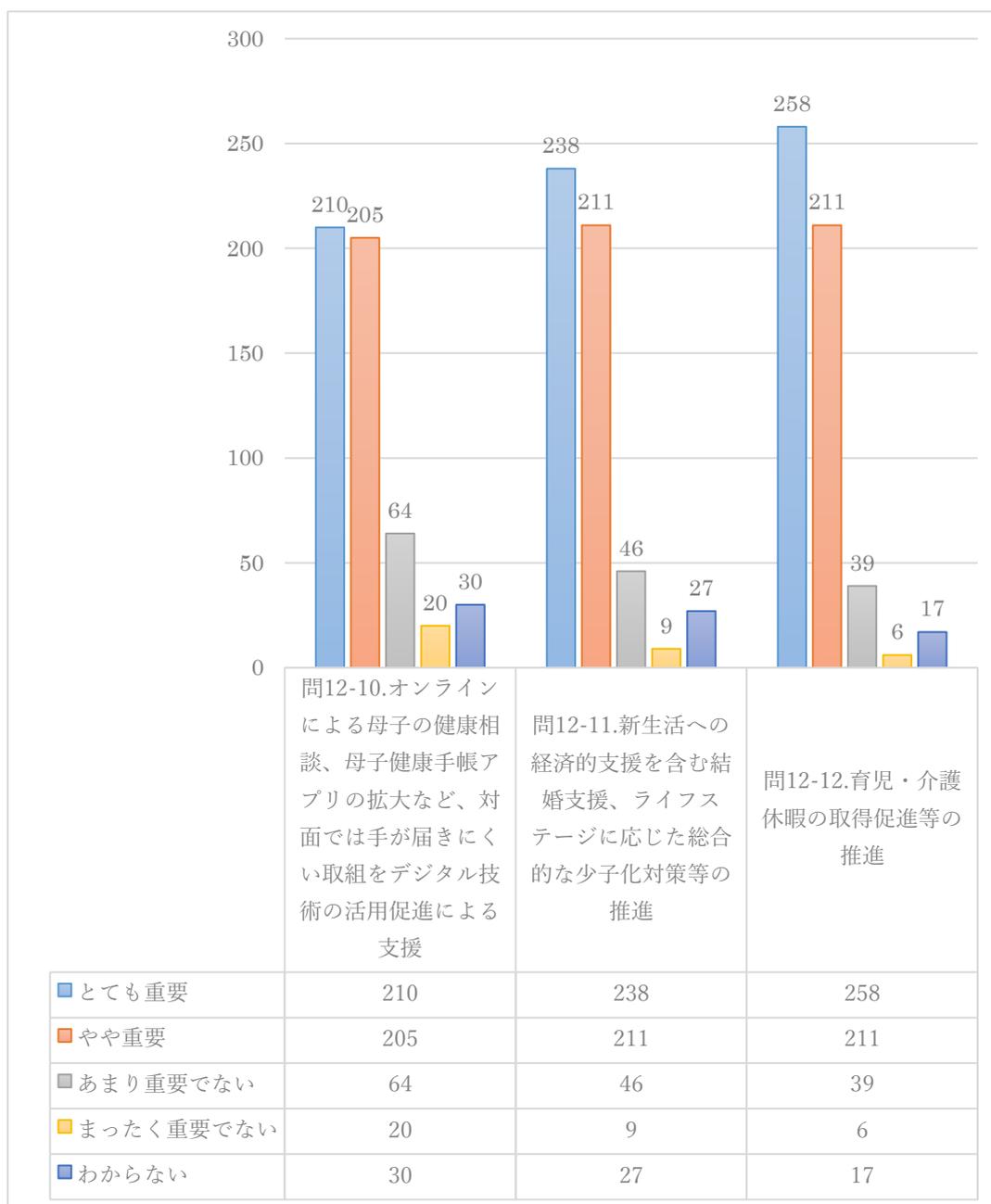
【人の流れをつくる】

- (6) 地方創生に資するテレワークの推進、企業版ふるさと納税等を活用したサテライトオフィスの整備等の推進
- (7) オンライン関係人口の創出・拡大、地方への移住・就業に対する支援、二地域居住等の推進
- (8) 地方へのサテライトキャンパスの設置、産学官の連携による地域産業の振興・雇用の創出、高校の機能強化等の推進
- (9) 女性活躍に向けた意識改革や働きかけ、女性の起業支援などの取組の横展開等の推進



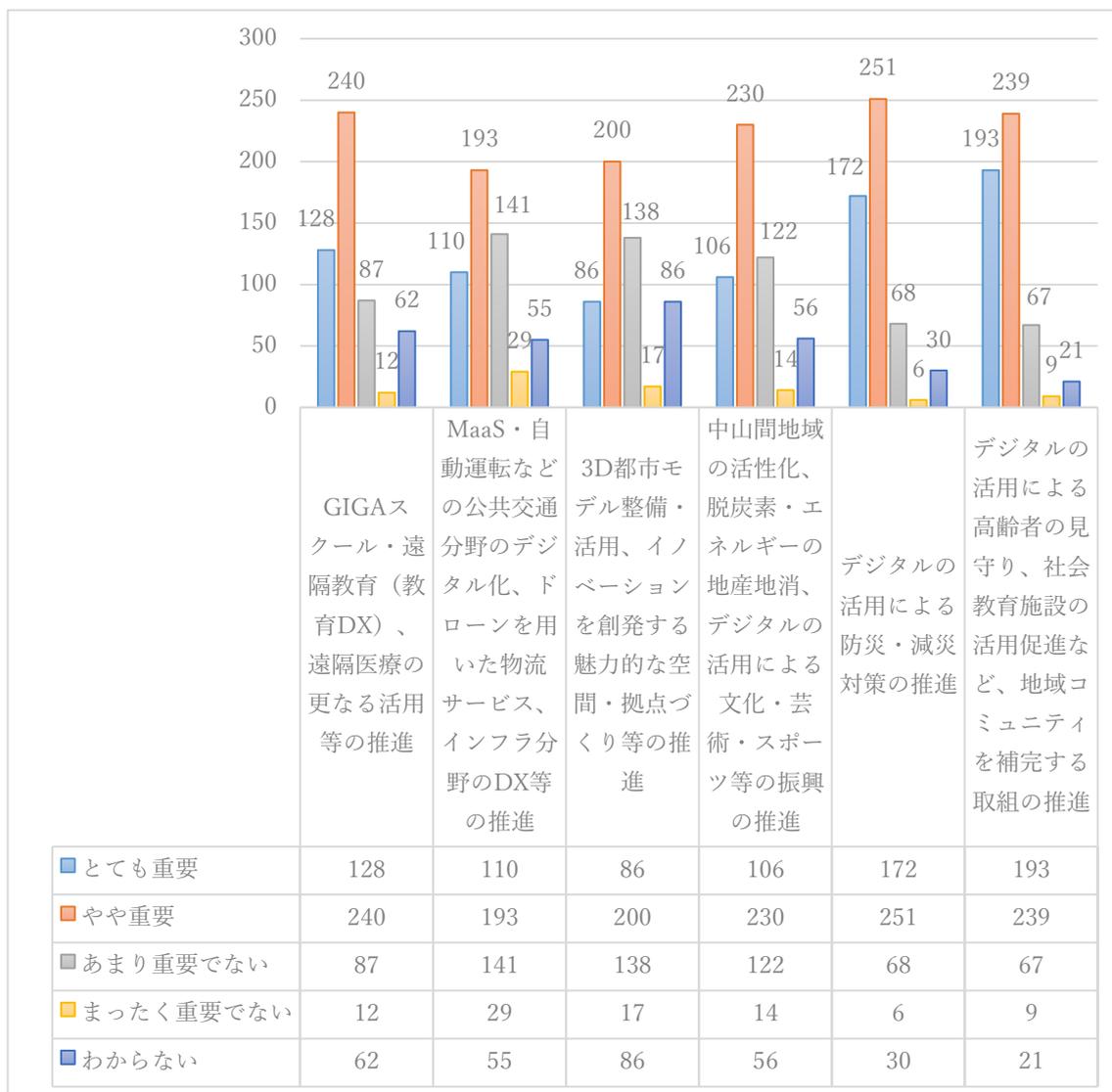
【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

- (10) オンラインによる母子の健康相談、母子健康手帳アプリの拡大など、対面では手が届きにくい取組をデジタル技術の活用促進による支援
- (11) 新生活への経済的支援を含む結婚支援、ライフステージに応じた総合的な少子化対策等の推進
- (12) 育児・介護休暇の取得促進等の推進



【魅力的な地域をつくる】

- (13) GIGA スクール・遠隔教育（教育 DX）、遠隔医療の更なる活用等の推進
- (14) MaaS・自動運転などの公共交通分野のデジタル化、ドローンを用いた物流サービス、インフラ分野の DX 等の推進
- (15) 3D 都市モデル整備・活用、イノベーションを創発する魅力的な空間・拠点づくり等の推進
- (16) 中山間地域の活性化、脱炭素・エネルギーの地産地消、デジタルの活用による文化・芸術・スポーツ等の振興の推進
- (17) デジタルの活用による防災・減災対策の推進
- (18) デジタルの活用による高齢者の見守り、社会教育施設の活用促進など、地域コミュニティを補完する取組の推進



問13. 仕事づくりや雇用の確保に関してあなたのご意見をお聞かせください。

意見
<ul style="list-style-type: none">・農作業に従事されている方の高齢化が深刻である。デジタル技術や若い世代のアイデアを積極的に取り入れ、農業の効率化をはかってほしい。・地元の特産品が藤樹の里あどがわなど、ごく限られた店でしか買えない。もっと広く特産品を普及して、高島市外からの観光客が各地域を訪れる流れをつくらなければ、地域活性化や、雇用の創出に繋がらない。・京都、大阪からのオートキャンプ場利用客は多いが、北陸方面からの観光客数が乏しい。
<p>いろいろな働きかたを選べるといい。テレワーク、在宅ワーク、フレックスなど今は出勤して仕事をする人が多く、田舎にはそんな仕事がないイメージ。そういった講習、講座、セミナー、転職支援あればうけてみたい。土日や夜間に開催希望。転職への一歩にもなり、子どもを家で見ながら仕事ができ、園に登園している間に仕事ができ、給与も多ければ、子どもを諦める人が減るのでは？ママだけでなく、パパも在宅になれば、ママが出勤してパパが子どもをみるでもこれからの時代、女性活躍の時代にそっている。パパの育児参加が少ない。</p> <p>小さな個人事業主、中小企業の方が、育休産休、育児参加への進みが少ないので、市からそおいう小さな会社へ案内、協力依頼、知識がない経営者へのセミナー参加依頼、書面による案内送付等、アンケートの依頼をしてみてもは。その結果返事がないところには、まだまだパパの育児参加が少ない、経営者が興味がない、知らないのでは。</p>
<p>移住者や外国人労働者に手厚いアピールするより、現在在住している人が暮らしやすくするべきだと思う。</p> <p>介護施設やグランピング施設など作っても働く人がいない。</p> <p>農作業をやる人も減ってきているのに、もう少しやり方を変えるべき。</p>
<p>雇用募集はあるものの、高島市全体的に給料が安いと思います。</p> <p>人間関係が良くても、雇用条件があまり良くない所も多いし、「個性」との事、不適切行動があっても改善されない企業が多い様に思います。</p>
<p>高島市にはたくさんの企業もあり働くところはあると思います。</p> <p>その事をもっとみんなに知ってもらえるような取り組みが必要だと思います。</p>
<p>今後市内に人口空白地帯が増えていくと考えられるので、移転補助金などで居住地や商店を密集させ、地域の維持コストを削減すべきだと思う。</p>
<p>人口減少をどういふ対策で解消していくのか、まず考えるべきではないかと思います。</p>

<p>例えば、仕事づくり、雇用確保とありますが、ベッドタウンにしたいのか、それとも仕事も住まいもできる地域にしたいのか、雇用確保はできているのではないのでしょうか。どちらかという、賃金アップや雇用環境、住んでる地域の魅力アップ等ではないかと思います。</p>
<p>人口減少対策には、雇用に加えて高島市に住みたい意欲が必要です。その様な方の多くはこの地域の出身者ですが、それでは限定的となります。私は（あくまで個人的）デジタル化を活用した教育や市民サービスの向上を強く推奨します。</p> <p>キーワードは「子供」と「高齢者」です。</p> <p>具体的には既設校に強烈な特進コースを設けるなど実績を作る。</p> <p>また、市民サービスでは、現行の防災無線をデジタル化するなど双方向での情報のやり取りを可能にして、高齢者の見守りや市民サービスの向上、行政事務の効率化を目指すべきと考えます。</p> <p>他地域からの参入を望むならば、何れも強烈なインパクトが必要です。</p>
<p>働く世代が住み良いと思える地域であることが未来の人口増減を決定していくと思います。現代の働く世代、未来の働く世代が住み良くするためには、雇用の産出だけでなく、そこで働く時の社会保障や子育てしながらでも働ける制度の充実が必須だと思います。今後 AI 等によるスマート農業をはじめ、各業務の自動化によって仕事の軽減を目指しながら、加えてそれを管理するための雇用を広めていけると良いと思います。</p>
<p>道路は来年改善されるが湖西線がよく止まるのは通勤通学、ひいては就職において大きな問題だと思う。高島市に通う(から通う)と言うだけでハンデキャップを背負ってしまっている。</p>
<p>白鬚神社などの観光地はあるが、観光地によくある土産物屋が並ぶ場所が高島市にはなく、観光地を経済的には活かしきれていない。</p> <p>観光地近くに市内の魅力ある商品が立ち並ぶ、土産物屋通りを作れば雇用が生まれる。</p>
<p>例えばゴミ焼却施設の新設における公設民営や市職員の派遣職員化などに見られるように、市自体が本気で正規職員の雇用を増やそうという気がまったくないので、「デジタル」のような小手先の手法に頼ろうとしているのだと感じる。</p>
<p>人口減少については、湖西線（JR）駅エリア（高島・安曇川・新旭・今津・マキノ）周辺の商業施設や企業誘致の減少で、町の核となる駅周辺がひなびた状態で魅力のない町にしており、駅周辺の活性化こそが必要と思われます。まず、駅周辺に大規模な商業施設を誘致して仕事づくりや雇用を確保し魅力が定着後に企業誘致を行い、更なる雇用確保を目ざしてはいかがでしょうか？</p>

働く企業が少なく、若者は都市へ流出していくのは当然である。企業誘致も地理的気候的ハンデがあり、現実的には不可能である。

全ての基本として「給料が安い」「仕事がない」が高島市の現状だと思います。京都や大津まで出ないと安定した給料がもらえる定職に就くことは、厳しいです。まず、安定して暮らせる賃金が大切です。

問14. 若者の移住・定住を促進することに関してあなたのご意見をお聞かせください。

意見
この地域にとどまりたいと思う仕事のやりがいと収入が確保できるか労働環境の構築。
デジタルなど流行りのものを取り入れるよりも 地域の伝統文化に誇りを持てるまちを作るべきではないか
強風時の JR 湖西線の通常運行をしてほしい。無理なら、堅田駅から、マキノ地域まで代替バスを運行してほしい。湖西線が通常運行しないと若者の移住は無理です。
郷土愛を若者に持ってもらえるように親世代が伝えていく事が大切だと思います。親世代が（高島市は何にもない、働くところでなんかあらへん好きなどこ行ったらええんや）などということを行ったりするのも良くないと思います。親世代の考え方も大切なのではないのでしょうか。
私達夫婦は高島市に職場があったので、こちらに住むようになりました 子供が小さいうちの子育ては自然も多く良かったですが、通学をするようになると不便さを感じるようになりました お給料の高い仕事があるというのは若者にとって重要で、そういう企業があると若者も戻ってくるのかなと思います
若者が移住・定住するためには、仕事、保育、交通、医療、の保障は欠かせないと思います。 そもそも職場がなければ市外に働きに行くしかありませんし、そのために預ける保育園は早い時間にバスで帰したり早い時間に迎えに来て下さい、なスタンスなので働きに出にくい状況です。 子どもが夜中病気など何かあった時に病院に小児科医がおらず、うちでは診れないので遠くの病院まで連れて行ってください、では安心して市内に住もうと思えない、すなわち移住してもらえないと思います。 後々年老いた時にも、医療を受けるために交通の便が悪いので毎回タクシーを使わなければいけない。そうすると老後は都会の方に移った方が安心だな、と思います。 現在の若い世代は効率や実用性重視のように思います。若者が高島にいるメリットを感じない限り若い世代の移住や定住は難しいかもしれません。
若者の移住促進にこだわる必要はないと思います。無理やり呼び込んでも、高島に興味なければ、街は良くなりません。本当に高島の良さを分かってくれる人なら、自然と移り住もうと思うと思います

<p>若者の移住定住を促進する事に使う税金を、税金を納めている市民の為に使うべき。</p> <p>多くの税金を使っても、他の自治体の効果を見ていると、あまり期待出来ない。</p>
<p>現在の高島市のむ施策は、人口減少を言い訳に予算確保のため保育施設の閉鎖を考えるなど真剣に人口減少に歯止めをかけようとしているようには見えない。</p>
<p>閉鎖的かつ排他的な住みにくい地域を無くす</p> <p>昔から住んでいる人間の意識改革が必要</p>
<p>保育料が無料なのは魅力だし、小さな子供の遊ぶ場所もそれなりにあると思うが、子育て中の大人が息抜きできる場所、娯楽がほしい。</p> <p>若者はやはり新しい物、事、場所が好きだと思う。</p> <p>高校卒業後に若者が出ていってしまうのは仕方がないと思う。</p> <p>定住してもらえる、帰ってきてもいいかなと思える町づくりが継続的に必要かと思う。</p>
<p>無理だと思います。高い賃金の働く場所、様々な娯楽、それらを整備するのは現実的に不可能でしょう。</p> <p>であれば、コンスタントな金銭を支払うなど、金銭的なメリット以外無いと思います。</p>
<p>利便性が悪すぎる。京阪神地区へのアクセスが悪すぎる（JR本数少なすぎる、近江舞子以北は1時間に1本）。161号線の渋滞も激しい（バイパスを早くつくるべき）。滋賀県内の陸の孤島です。湖南湖東に比べて差が著しい。不便なところには若者に限らず、よっぽど田舎が好きな人以外は住みたがりません。</p>
<p>高島市で住む事に対して、メリット・デメリットを明確にし、利点を正確に情報発信する。</p>
<p>やはり、京阪神へのアクセスです！まずは、湖西線の運休がこれだけ多いと通勤することがむずかしくなる。距離的には、京都など通勤圏内であり、私自身平日は京都へ通勤、休日は市内ですごしていますが、休日の高島市内は最高の環境かと思えます。市の方でも、鉄道に対する対策は重視してほしい。滋賀県内でも、人口が増えている市町は、アクセスが良いからという理由が一番です。</p>

問15. 結婚・出産・子育てを支援することに関してあなたのご意見をお聞かせください。

意見
<p>高島市内での結婚支援を活発にしてほしい。 出会いがあれば定住したいが、無いので移住を考えている。</p>
<p>やはり、出産後の手厚いサポートや、結婚や出産するメリットを、伝え継ぐ高島市のゆったりとした空間や、空気の美味しさ、四季折々の自然の素晴らしいこの地で子育て出来る素晴らしさをアピールして頂く。</p>
<p>金銭的な支援は色々あるのですが、共働きの夫婦では所得制限で受け取れないものもあります。働いている私たちが納めた税金なのに、税金を納めていない方に還元されるのは腑に落ちないなと思ってしまいます。</p>
<p>結婚、出産、子育てを金銭的に支援するだけではそのライフステージが終わった人や成長した子供たちが市外へ出ていってしまう可能性があると思う。一生市内で暮らしたいと思えるような制度や街作りに注力すべきだと思う。</p>
<p>高島市外に働きに出ているが、どうしても子どもの世話を妻にまかせっきりにせざるを得ない。 妻も、普段子育てについて相談できる人、窓口がないと言っている。 親のどちらかの祖父母が近くに住んでいれば少しは楽なのだろうが、私たちは県外からの移住者で、頼れる親戚がいない。 県外出身者でも困ったときに頼りになる相手やサービスがあったり、外に出て働きたい女性が自由に働ける環境を整えてほしい。</p>
<p>今の世代は充分支援されてると思います。私達の子育て時期は助けてもらえなかったけど、子供の人口は多かったと思います。なので支援してもらえないから子供を作らない訳ではないと思います。 それよりも障害がある子の家庭を支援してあげて欲しいです。</p>
<p>仕事をしながら産婦人科に通おうとしても、夜間や休日やっている産婦人科がなく、堅田まで行っている。 高島市に住んでいるのに大津市で出産という形にならざるを得ない。</p>
<p>子供の医療費や給食費、保育園費の無償化にはすごく助けられています。 子育て世代にとっては自然も多く、子どもが楽しめるイベントも多く、すごく過ごしやすい、環境だと感じています。 高島市で暮らし子育てをしたいと思う、世代がたくさん住んでくれるといいなと思っています!</p>
<p>市内での働き口や給料の問題で若い世代が市外へ出てしまい、残った市内の20代、30代は子どもがいても共働きをせざるを得なく、学童も定員があふれ、預けられな</p>

いことになっている。子育てに関しては高島市の制度はかなり良く、私も助かっています。

第一子を他県で出産し、第二子を高島市で出産しました。
妊娠から出産後までの補助やサービス等は高島市がナンバーワンです。世間では妊婦様や子連れ様など冷たい目でみられるのに、高島市は本当に子供に優しいまちだと感じます。

今実施されている補助は今後も続けていただきたいです。あとは認知が広まれば、必ず移住者は増えると思います。

地域内の交流と教育を強化するために、地域の小中学生が、高齢者に動画編集やゲームのやり方を教えるような企画をしてほしい。高齢者にとっては、若い世代との交流のきっかけや帰省した家族との関わりを深められるものとなるし、小中学生にとっては、地域への愛着や、教えることによって自信がつくのではないかと思う。

娘がいますが市内では稼げる職は無いと出ていきました
出産子育て環境は良いと思いますがまず、生活が成り立たないと
便利な都会に軍配が上がります
やはり大企業の誘致が一番の近道かと思います

近年、仕事をしている母親が普通になっています。なのに保育園に入れず困っている人が多いです。子育て世帯に支援する事も大事ですが、保育士さんに手厚く支援して、保育士になろう 保育士復帰しようかななど思ってもらい、子供の受け入れ人数を増やしていく対策も必要だと思います。

少子化が超速で進む中で、仕事と子育てを両立するのは不可能と考えています。子育て支援を充実しても、少子化を改善する事はむずかしいと考えます。まず、子供が減ると社会がどうなるかと言う啓蒙広報が大切。次ぎに安心して子供を育てられる支援制度のメニューと財源確保を図るべきと思われます。このままでは日本全体が破滅してしまいます。

高島は、自然が豊かで、人が人間らしく暮らすには、良い環境です。子供も、自然の中で元気いっぱいすごしています。ただ、教育を考えると、むずかしい部分もあります。教育レベル向上にも目を向けてほしい。そのためには、大学の施設を誘致するなど、対策が必要かと思います。

問16. デジタルを活用したまちづくりに関するあなたのご意見をお聞かせください。

意見
<p>アプリの活用はこれからの社会で必須で、すでに実施されていることと思います。自動化できる部分はどんどん自動化して、本当に人手の必要な部署や仕事に人員をさけるように引き続きしていただければと思います。</p>
<p>デジタルのみでは人口減少に歯止めは係らない、デジタル技術はツールとして使用するべきで減少に歯止めを方策を検討するべきである。</p>
<p>デジタルの便利な面ばかりにとらわれずに危険性をしっかり認識した上で 地域の文化を守りながら活用する方が良い</p>
<p>行政に関して言えば、まだ窓口へ行かないとできないことが多い（と思っている）ので、インターネットを通じてできることを増やしてほしい（各種申請関係）。民間に関しては、コストの面、リテラシーの面から進んでいないことも多いが、生産性向上を自治体全体の課題とするのであれば、今ある補助制度の積極的活用について周知する、対象とならないような部分（または自己負担の一部）は独自の補助制度などを構築するなどして後押しすることが必要。</p>
<p>高島市の場合、広大な面積に集落が分散しているのが難点と思う。商業施設は安曇川、今津に集中しており、例えば気軽に買物ができる仕組みを作るのにデジタルを活用して欲しい(もっと気軽に使えるオンデマンド交通とか、直接声かけしなくても一品買いを同地域の人にしてもらえる仕組みなど)。</p>
<p>高齢者が多いので、デジタル化が定着するか疑問です。 デジタルはオンライン診療や、社会福祉の面で対象者が申請制ではなく、もれなく支援を受けられるシステム作りなどに使われればいいのではないのでしょうか？ 過度なデジタル化はかえってトラブルの元になる気がします。（停電ただけで使えないとかは…困りますよね）</p>
<p>私の家計の決済手段は、今や95パーセントが口座決済だ。 地域通貨のアイカなんてなんの価値もないし役にたたない。そんなことを何の疑問も持たずに続けているのは最悪。利用者にとって何のメリットがあると考えているのか。呆れてものも言えない。 やるとしたら、市でデジタルアイカでもつくって最低でも5パーセントぐらいのポイントを付けて、業者と利用者が共にウインウインのメリットがある制度をつくるべし。 そんなことを考える人が市役所にいないのか。</p>

<p>生成 AI を見ても、デジタル技術の進歩は現実をはるかに超えている。要は技術を使う人が大事なのであり、高島市においてデジタルで何が現実的なのか、誰が（どの世代が）何を目的にして活用するのかを明確にして取り組む必要がある。</p>
<p>様々な場面でデジタル化が進めば便利だと思います。今の高齢層は紙媒体も必要かと思いますが、これからの高齢層はこれまでデジタルを使いこなしてきた世代なので、どんどんデジタルにシフトしていけるとと思います。</p> <p>例えばごみ収集日のカレンダーが TimeTree 等のアプリに反映できたら便利だと思います。</p> <p>回覧板や配布物もデジタル配信ができればよいと思います。紙媒体が無くなったからといって地域でのつながりは良くも悪くも変わらないと思います。地域での作業や会議の連絡もデジタルになれば便利だと思います。</p>
<p>デジタル社会は大切であるが、アナログもいいところがあるはずです。楽（ラク）をするのもいいけど、老人のしてきたことを思い出すことも重要ではないか</p>
<p>デジタルを活用した町づくりは今後の時代に必要かつ重要な事と思いますが、IT がどんどん進む中、必ずその変化についていけない年代人口はなくならないでしょう。アナログも又人間的でホッとする部分が多々あります。常に弱者に思いやりある町であってほしいです。</p>
<p>老人でも操作できるデジタルを活用し、1人暮らしの方でも緊急時連絡が取れたり、地域内でもデジタルを活用・医者とのやり取りも現場に行かずに出来ると助かるのでは？</p>
<p>デジタルに頼りすぎてもいけないと思います。市と住民とのコミュニケーションが大事だと思います。</p>
<p>若者の流出を止める為に、デジタルを活用する意図が理解できません。人口減少は自然な流れだと思います。</p>
<p>かねてから思うのですが、デジタルなものが最も必要なのは、体の不自由さを感じておられる、お年寄りや体に障害を持っておられる人に活用してもらいたいと思っております。そういう方たちの暮らしを支えて下さるような、ケアして頂くようなまちづくりをしていてもらいたいものです。</p>